木材利用・普及啓発

大阪府　大阪市（大阪中之島美術館の整備事業）

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和３年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。
- さらに、木材利用の普及啓発の一環として市立図書館において、関連図書を整備しました。

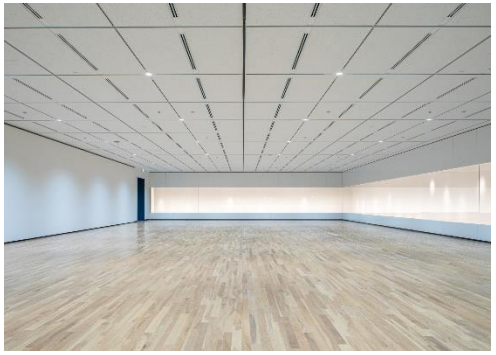
□　事業内容

大阪中之島美術館の整備事業

- 令和４年２月に開館した大阪中之島美術館において、４階展示室の床、親子休憩室の扉等に国産木材を使用した。

【事　業　費】約156億円（うち譲与税36,563千円）

【実　　績】４階展示室ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ　約1,000㎡
親子休憩室扉　等



□　事業スキーム

一般競争入札

□　工夫・留意した点

- 美術館展示室の床に国産木材を使用することで、多くの人に木の良さを実感してもらえる空間となった。
- 子どもや保護者等が利用する休憩室においても建具等手が触れる部分に国産木材を使用することで、木のぬくもりを感じることができる仕様とした。

□　基礎データ

①令和３年度譲与額	236,228千円
②私有林人工林面積（※１）	0.00ha
③林野率（※２）	0.00％
④人口（※３）	2,752,412人
⑤林業就業者数（※４）	62人

※１、２：「2020年農林業センサス」より、※３：「R2年国勢調査」より、
※４：「H27年国勢調査」より